

令和元年度第1回 関東地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会 議 事 概 要

1 開催日時：令和元年7月1日（月）～19日（金）

2 開催場所：各委員に個別に資料提示・説明

3 委員

委員長 池田耕一 立命館大学大学院 経営管理研究科 客員教授

委員 赤松幸夫 赤松法律事務所 弁護士

〃 大野正英 麗澤大学 経済学部 教授

〃 岡本直久 筑波大学 システム情報系 教授

〃 山田務 筑波大学大学院 ビジネスサイエンス系 教授

（委員は五十音順）

4 議 事

平成30年度関東地方整備局コンプライアンス報告書（案）について

5 概 要

事務局が各委員に、平成30年度における関東地方整備局のコンプライアンスに関する取り組みについて、報告書案を提示して説明し、記載内容等について意見を伺った。

委員からは、報告書の内容について特に異論はなく、「コンプライアンス活動に十分努力されている。継続してやっていくことが大事である。」と評価された。

【主な意見】

- ① 報告書の構成として、取組状況と評価を別にしてしまうと読みづらくなるので、取組状況の中に評価を入れた方が良いのではないかと。
- ② コンプライアンス週間の取組におけるアンケートの反応は良いようだ。事務所等横断的なミーティングのように評価の高い取組は継続していくべき。
- ③ 各事務所の良い取組については、積極的に評価をして横展開していった方が良い。
- ④ 他省庁の地方支分部局において、入札情報の教示行為等を行ったとして、処分される事案が発生している。民間企業や退職者等との関係には留意するようあらためて職員に周知していくべき。